【資料2-1】安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画に係る現状整理図

1 現計画の課題

- 食品の安全性に関する知識があると思う 市民割合の低迷
- さっぽろ HACCP 等、事業認知度の低迷
- 特に食の安全確保への取組を行っていな。 い若い世代(10歳代後半から30歳代) の割合・認知度の低迷
- 対市民向けの情報提供不足
- 対事業者向けの情報提供不足

2 社会背景

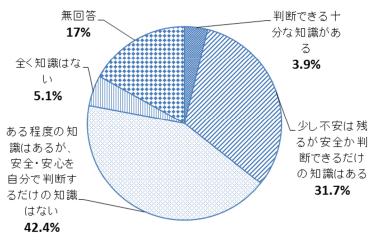
- 食品表示法の施行(2020.4より完全施行)
- ・食品衛生法の大改正(HACCP 制度化等)
- ・ 平成 28 年熊本地震の発生
- ・ 平成 30 年北海道 肥振東部 地震の発生
- 市外における大規模イベントにおける カンピロバクター食中毒(肉フェス)の発生
- 来札観光客の増加
- 冬季オリンピック招致、北海道新幹線札幌延伸

3 次期計画の重点課題

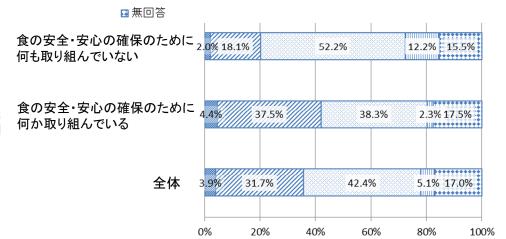
- わかりやすい情報提供の更なる拡充(リスコミの強化)
- 若い世代(10歳代後半から30歳代)に向けた学ぶ機会の拡充
- 各計の独自取組をPRする仕組み作り(イベント以外)
- ・災害発生時の食の安全確保対策の拡充(連絡体制強化など)
- ・さっぽろ HACCP の活用、おもてなしの店の拡充
- 関係団体との連携強化(食品関係団体、商店街)
- ・観光客向け施設、イベントの監視指導強化
- ・観光客向け施設の外国語対策強化(ピクトグラム活用、外国語メニュー)

市民意識調查結果(平成29年度)

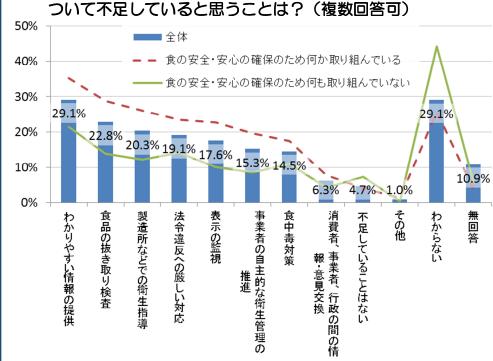
問 食品の安全性について知識があると 思いますか?



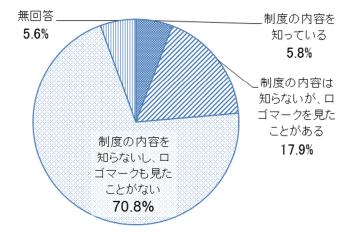
- ■判断できる十分な知識がある
- ☑少し不安は残るが安全か判断できるだけの知識はある
- 図ある程度の知識はあるが、安全・安心を自分で判断するだけの知識はない
- ■全く知識はない



問 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取組に



問 さっぽろ HACCP を知っていますか?

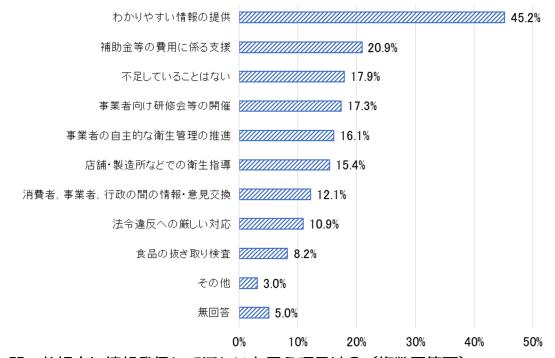


【食の安全・安心の確保のた めに何も取り組んでいない と回答した年代別割合】

29歳以下	43.8%
30~39歳	32.2%
40~49歳	29.4%
50~59歳	25.1%
60~69歳	20.3%
70歳以上	25.4%

事業者意識調査結果(平成 30 年度)

食の安全・安心の確保のために札幌市が食品関係事業者へ行う 取組について不足していると思うことは? (複数回答可)



問 札幌市に情報発信してほしいと思う項目は? (複数回答可)

